

公募制推薦入試 [併願制]

併願制

高等学校までの学びにおいて基礎学力を身につけた学生を、出身学校長の推薦に基づいて広く受け入れる。

ポイント

- 1 出身学校における成績（50点満点）と選考試験（200点満点）により判定します。
- 2 選考試験は小論文型の A 方式と、2 教科型の B 方式の 2 方式です。
- 3 学部を問わず 1 回の受験で 2 学科まで併願できます（併願分の入学検定料は不要。教育学部は各コースを学科とみなす）。
- 4 B 方式（2 教科型）を複数日程受験の場合、英語と国語それぞれの最高点の合計点で判定します（ハイスコア方式）。
- 5 本学試験場のほかに学外試験場を設置します（以下の「試験場」参照）。
- 6 現役生、一浪生が受験可能です。出身学校長の推薦が必要です。
- 7 本学の公募制推薦入試【専願制】との同時出願が可能です。
- 8 優秀な成績で合格した学生を対象として入試特別奨学金を給付します。（B 方式のみ）
- 9 チャレンジ受験により、一般入試【第 1 期】の入試特別奨学金の選考対象となります。

◎ 8/3(土)、8/4(日) に開催するオープンキャンパスでは、「公募制推薦入試 [小論文型] 実践講座 (模擬試験と解説)」を行います。また、9/22(日) には公募制推薦入試に特化した「入試対策講座 [小論文型] (模擬試験と解説) [英語・国語 2 教科型] (模擬試験と解説)」を行います。[英語・国語 2 教科型] については、河合塾の講師が解説予定です。また、6/16 (日)、8/25 (日) には「小論文型入試セミナー」を実施しますので、利用する入試制度に応じてぜひ活用してください。詳細は、大学ホームページで確認してください。

出願資格

- (1) この推薦入学制度の趣旨を理解し、本学への入学を強く希望している者
- (2) 高等学校もしくは中等教育学校を2024年度卒業見込み、または2023年度卒業の者で、学校長の推薦する者

※ (1) (2) の条件を満たしていること。

※ 個別の入学資格審査により出願を希望する場合は、事前に入学センターまでご連絡ください。

試験日・出願期間・合格発表日・入学手続締切日

学部・学科	試験方式	試験方法	試験日 (試験日自由選択制)	出願期間 (締切日消印有効)	合格発表日	入学手続締切日 (締切日消印有効)	
						第 1 次	第 2 次
全学部・全学科	A 方式 = 小論文型	小論文	11月15日(金)午前 11月16日(土)午前	10月 15日(火) 11月 1日(金)	11月 27日(水)	12月 16日(月)	1月 14日(火)
	B 方式 = 2 教科型	英語 国語	11月15日(金)午後 11月16日(土)午後 11月17日(日)午後				

[注] (1) 入学検定料・学校納付金の納入方法については 23・24 ページを参照してください。

(2) A 方式、B 方式とも、1 日又は複数の日を選択できる試験日自由選択制です。

(3) 各試験方式において試験日ごとに 2 学科 (教育学部は各コースを学科とみなす。) まで志望することができます。

(4) A 方式と B 方式を併願することも可能です。

試験場

公募制推薦入試 [併願制] では、下表のとおり試験場を設置します。

試験日・試験時間	京都 (本学)	京都 (京都駅前)	彦根	草津	大阪	神戸
11月15日(金) 午前・午後		●		●	●	
11月16日(土) 午前・午後	●		●	●	●	●
11月17日(日) 午後	●					

*学外試験場の詳細は、入学試験要項で必ず確認してください。

選考方法・試験時間・配点

- (1) 出身学校における成績(出身学校調査書の全体の学習成績の状況を10倍して50点満点に換算)と、本学で行う選考試験の成績(200点満点)との総合評価による(合計250点満点)。
 (2) 選考試験は、次の2方式とする。

A方式=小論文型

	内容	試験時間	配点
小論文	日本語の課題文(2,000字程度)を精読し、その内容理解に基づいた小論文(800字以内)を作成する。	100分	200点

B方式=2教科型

教科	科目	試験時間	配点	備考
英語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ	50分	100点	計2教科 200点 《マークシート方式》
国語	現代の国語・言語文化(古文・漢文を除く)	50分	100点	

評価の基準

公募制推薦入試〔併願制〕は、志願者の出身学校での学習成果を重視しつつ、なおかつ大学入学後の適性を見るため、出身学校調査書の全体の学習成績の状況と、当日の選考試験の成績との合計点によって合格者を決定するという方式をとっています。

選考方法は、出身学校調査書の全体の学習成績の状況(50点満点)と、本学で行う選考試験(200点満点)との総合評価(合計250点満点)とし、試験方式は小論文型(A方式)と2教科型(B方式)の2種類となっています。

A方式=小論文型

小論文型(A方式)は、日本語の課題文(2,000字程度)を精読し、その内容理解に基づいた小論文(300字以内の要約と500字以内の自分の意見)を作成するものです。課題文の内容を正しく読解し、その論旨を正確に把握したうえで、与えられたテーマについての考察が、まとまりある形で表現されているかどうかの評価されます。

具体的には、

- ①読解力: 課題文をよく読解し、その論旨を正確に把握しているか
- ②思索力: 与えられたテーマについて、十分に考察し、また批判や評価をしているか
- ③表現力: 考察した内容を説得力ある文章にまとめているか、誤字や脱字はないか
- ④独創性: 広い視野のもとで、独自の視点を提示しているか

などの諸点を基準にして総合的な評価をします。従って、課題文の内容を無視して、事前に用意してきたものを写したかのような論文は、いくら論述の内容と方法とに優れたものであっても評価しません。課題文に基づいて、問われている事柄に答えることが重要です。試験時間は100分です。

B方式=2教科型

2教科型(B方式)は、「英語」「国語」をマークシート方式で解答するものです。試験時間は各教科50分です。

併願 ※併願した場合、入学検定料を減額します。詳細は23ページ参照。

複数の試験日・試験方式で併願することができます。ただし、それぞれの試験日の各試験方式において、出願できる学科は2学科まで(ただし同一学科不可。学部を問わない。教育学部は各コースを学科とみなす。)です。試験日、試験方式が異なれば、同じ学科でも異なる学科でも併願することができます。

併願例

試験日	試験方式	第1志望	
		志望学科①	志望学科②
11月15日(金)	A方式	真宗学科	哲学科
	B方式	国際文化学科	歴史学科
11月16日(土)	A方式	コミュニティデザイン学科	国際文化学科
	B方式	現代社会学科	コミュニティデザイン学科
11月17日(日)	B方式	教育学科 初等教育コース	教育学科 幼児教育コース

入学前教育プログラム

公募制推薦入試〔併願制〕の入学手続きには、任意の入学前教育プログラムとして、「自習プログラム」(別途費用が必要)を提供しています。「自習プログラム」では、大学での学びに必要な基礎的な学力を確認し、入学後の専門分野の学びに関連する内容を学習します。詳細は大学ホームページ等で確認してください。

入試特別奨学金制度(B方式のみ)

この奨学金は各学科(教育学科はコース)の入学試験の成績優秀者を対象に、84~94万円を給付します。詳細は入学試験要項にて確認してください。

入試特別奨学金チャレンジ受験制度

公募制推薦入試〔併願制〕の入学手続きは、入学の権利を保持したまま一般入試〔第1期〕を受験することで「入試特別奨学金」の選考対象とします。(入学検定料は不要です。)出願方法の詳細は、合格通知書に同封します。(B方式にて受給対象となった方は除く)